

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022を開催します!!

～「南海トラフ地震」への備えはできていますか?～

「南海トラフ地震」及び「南海トラフ地震臨時情報」について、来場された皆さまと一緒に学び、備えと行動を考えるため、**「第10回 中部ライフガード TEC2022」においてワークショップを行います。**

会場では南海トラフ地震対策に関する展示も行いますので、是非、ご来場及びご参加ください!!

《開催概要》

日 時：令和4年10月4日（火） 10:00～17:00
令和4年10月5日（水） 10:00～16:00

会 場：ポートメッセなごや 第3展示館（ライフガード TEC 展示会場内 特設会場）
〒455-0848 愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目2
会場アクセス <https://portmesse.com/access>

内 容：別紙「実施概要」のとおり
参加費は無料です。
参加申込みは不要です。ご都合にあわせてご来場ください。（入退場自由）

主 催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議/あいち・なごや強靱化共創センター

そ の 他：本イベントは「第10回 中部ライフガード TEC2022」の併催行事です。
入場登録・新型コロナウイルス感染症対策等の注意事項につきましては、
「中部ライフガード TEC2022」ホームページをご参照ください。

URL：<https://lifeguardtec.com/>

《取材について》

取材にあたっての事前登録方法については、後日、ご案内します。

《配布先》

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞社、
港湾空港タイムス、日本海事新聞社、マリタイムデーリーニュース、海事プレス

《問合せ先》

中部地方整備局 防災管理官 もり ただし 森 匡、防災室 建設専門官 てらだ ひろかず 寺田 広和

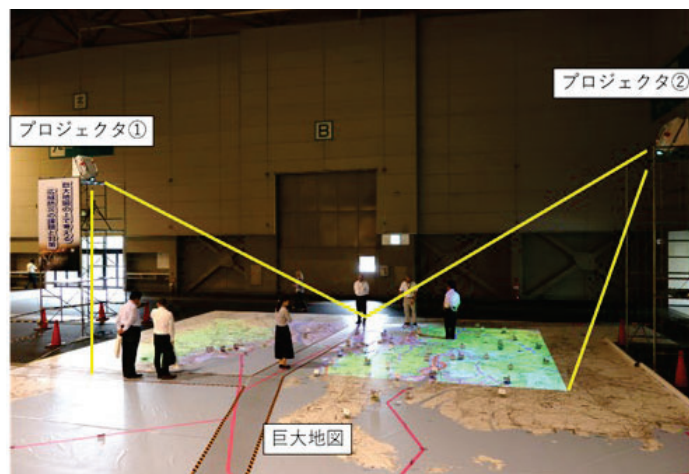
電話番号：052-953-8357、ファックス：052-953-8362

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022 実施概要

- 南海トラフ地震対策における8つのテーマについて、ご来場された皆さまで参加できる講座を開催します。
【1テーマ30分程度・参加申込不要・入退場自由です。】
- 講座では、床面に巨大地図を敷きプロジェクションマッピングにて南海トラフ地震発生時の地震動や津波の伝播状況、震度分布や液状化の状況といった被害状況を投影するなど、巨大地震発生時の臨場感を体感しながら、地震対策を学び、備えと行動を考えていただきます。



(ワークショップ 実施状況イメージ)



(ワークショップ 会場設営イメージ)

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022 ～みて、知って、備える。プロジェクションマッピングで学ぶ南海トラフ地震～

実施日時	テーマ	タイトル	担当機関
10月4日(火) 10時30分～	南海トラフ地震について (総論)	「南海トラフ地震をみる」 ～巨大地図からみえる南海トラフ地震とは～	名古屋大学 名誉教授 福和伸夫 氏
10月4日(火) 13時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (発表の流れ)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報の流れと仕組みを知る～	名古屋地方気象台
10月4日(火) 14時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (防災対応)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報発表に伴う防災対応～	内閣府
10月4日(火) 15時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (自治体の取り組み)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報に関する地方公共団体の取組状況～	愛知県 名古屋市 豊橋市
10月5日(水) 10時30分～	発災時の対応 (被害情報把握)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～国土交通省による被災状況の収集・発信について～	中部地方整備局
10月5日(水) 13時30分～	発災時の対応 (医療体制)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～南海トラフ地震来襲 そのとき医療体制は…～	中部ブロックDMAT 連絡協議会
10月5日(水) 14時30分～	発災時の対応 (災害廃棄物処理)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～災害ごみからみえる対応について考える～	名古屋大学 准教授 平山修久 氏 中部地方環境事務所
	南海トラフ地震への備え (中部圏のこれからの防災)	「南海トラフ地震に備える」 ～この地域が行うべき備えについて考えよう～	名古屋大学 名誉教授 福和伸夫 氏